

第2回愛マップ・プロジェクト

平成26年6月14日(土) 午前10時～午後12時
小牧中学校 多目的室

2014年度の活動目標から

□ 小牧から新しい地震防災の知恵を発信する

みんなが考えてくれた「これも地震防災になるのでは？」と思うこと(一部抜粋)

- 大きいところに近づかない、増水時の用水路に近づかない
- 建物の補強工事、倒れにくくする
- 合瀬川の水を利用する
- 節電、節水をする
- 避難訓練、地域の避難の呼びかけ
- 非常持ち出し袋の準備
- 家族で集まる場所を見直す
- 家具の固定
- 貯水タンクを置く
- 大きなものが倒れなさそうなところで寝る
- 食料の購入
- 「愛マップ」を牧中校区全世帯に渡す、避難所がどこにあるかを知らせる紙を配る

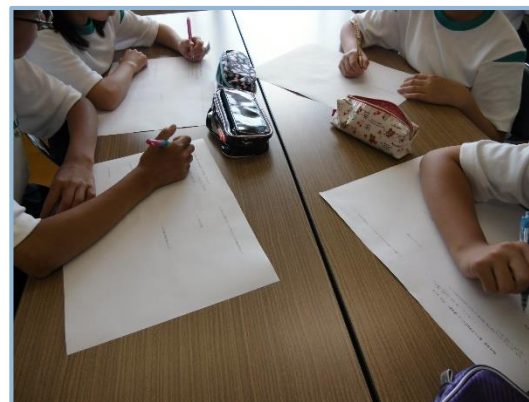
「愛マップ」に参加していない人(1)

- 「愛マップ」に参加していない人ってどんな人？
- どうして「愛マップ」に参加しないのかな？
 - 面倒だから
 - 宿題が多いから
 - 家の用事があるから
 - やる気がないから
- 「愛マップ」に参加しない人は「悪い人」なの？
 - そんなことはない
 - 参加してみたいという気持ちがある人もいる

「愛マップ」に参加していない人(2)

- もしも災害が起こったら、「愛マップ」に参加していない人はどうなってしまうだろう？
 - 危ない状況になる
 - 混乱する
 - 逃げ道がわからない

みんな困ってしまうよね。
「愛マップ」で学んだことを活かして、困っている人の力になるには
どうしたらいいだろう？



「地震」と「家具」

- 阪神・淡路大震災など、過去の大地震の時には、家具が倒れることで、多くの人々が亡くなったり、けがをしたりしている
- どうしたらいいだろう？
 - ▣ 家具の転倒防止対策をすればいい
- でも、家具の転倒防止をしている人は「26.2%」しかない

「転倒防止」をした方がよいことはみんな知っているよね。でも、実際に対策をしている人は4人に1人しかないんだって。

(平成21年防災に関する特別世論調査より)

家具の転倒防止をしない理由

1. 面倒だから 28.7%
2. 固定しても大地震の時には効果がないと思うから 14.3%
3. 転倒しても危険ではないと思うから 12.3%
4. 固定する方法はわかっても、自分ではできないと思うから 11.6%
5. お金がかかるから 11.4%
6. 家具や壁などに傷をつけるから 10.2%
7. 地震が起きても転倒しないと思うから 10.2%
8. どうやって固定してよいかわからないから 9.8%

特にない16.2%

1位の「面倒だから」は「愛マップ」に参加しない人の理由と同じだね。

防災訓練に参加しない理由

- 防災訓練に参加したり見学したことがある
=39.2%
 - 知っているけど参加しなかった理由
 - 忙しいなど時間的余裕がなかったから 44.8%
 - 具体的な日時・場所, 申し込み方法がわからなかったから 21.3%
 - 時間的に拘束されると思ったから 18.4%
- (平成21年防災に関する特別世論調査)

忙しくて参加しないのは「愛マップ」と同じみたい

分かってはいるんですが・・・

- できない、やらない
 - ▣ 「できない」場合もあれば、「できるけど、やらない」場合もある
- どうすればいいのでしょうか？
 - ▣ 「防災」ができない人でも、災害の時に困らないようにする方法を考えよう
 - ▣ 「愛マップ」の活動を知らせることで、役に立てるのではないか

では、「愛マップ」を知ってもらうにはどうすればいいかを、みんなで考えよう

「愛マップ」を知らせたい

- 「愛マップ」に参加していない人に、「愛マップ」を知ってもらうにはどうしたらいい？（みんなの意見）
 - 「防災の方法」を伝える前に「知る楽しさ・大切さ」をわかってもらってから伝える
 - 「愛マップ」をインターネットで公開する→時間がない人でもパソコンを見れば防災ができる
 - 避難訓練を繰り返す
 - 愛マップの活動をクラスで紹介する、クラスタイムの時間に愛マップを知っている人が教えてあげる
 - ゲーム(避難ゲーム)にする→強制参加
 - 知っている人が知らない人に「入れ知恵」→積極的に教える
 - 地域の人と協力する→ゲームをするなど
 - 避難場所やルートをポスターや愛マップを使ってわかりやすく伝える

「防災」は特別なものではない

普段の生活の一部として取り入れれば、「防災」がぐっと身近なものになる

□ 土手の花見

土手(堤防沿い)に桜がたくさん植えられているところでは、花見客が土手を踏み固めるから丈夫な堤防になるよ

□ 夏祭り的一部に防災訓練

■ 炊き出し

お祭りで炊き出しをやれば、いざというときのための練習になるよ

□ 生活習慣

■ 食べ物を使い切らない

食料が残り3日分くらいになったら、新しい食料を買うようにすれば、いざというときに食べ物に困らないよ

■ お風呂の残り湯を捨てない

災害で断水しても、トイレを流す水として使えるよ

■ 2階で寝る

地震で1階が押しつぶされることがあるよ

どうすれば調べられるか

- 生活の中にある防災の知恵を調べるためには？
(みんなの意見)
 - インターネットで調べる
 - お年寄り(小牧をよく知る人)に聞く
 - 図書館で調べる
 - 近所(お年寄りの家)でホームステイする
 - 回覧板で募集する
 - 消防署でインタビューする
 - アンケート調査を試してみる
 - 市役所の人に聞いてみる
 - 地域の人とふれあう→お祭り、イベント
 - 小牧ぶらり旅
 - 他の地域の人と交流する→違いが分かる

「まち歩き」やります

次回は「まち歩き」をやる予定。
「どこ」で「なに」を調べるかは、次回までのお楽しみ！

